

# 池田町の連結財務書類4表 (平成26年度決算)

資産総額は約**640**億円 負債総額は約**168**億円 純資産総額は約**472**億円

池田町では、住民の皆さんに分かりやすく財政状況を情報提供するため、複式簿記・発生主義の考え方に基づいた企業会計の手法を取り入れ、平成21年度決算までは、「総務省方式」により普通会計の財務書類を作成し公表していました。平成22年度決算より、「新地方公会計制度」に基づき「総務省方式改定モデル」により連結財務書類4表を作成しています。

連結財務書類4表とは、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」のことで、町（普通会計・特別会計・企業会計）及び土地開発公社、町が加入している一部事務組合などの関係団体の財務書類を連結ベースで把握することにより、町の全体的な財務実態を見ることができます。また、連結財務書類を作成することで、資産・債務に関する情報開示と適正な管理を一層進めるとともに、財務書類の分析を通じて今後の行財政運営の改善を図るために活用していきます。

## 連結貸借対照表

連結貸借対照表とは、行政サービスを提供するために必要な道路、学校などの公共資産がどれくらいあるのか、また、その整備のために使われた資金や負債（借金）がどれくらいあるのかを、池田町を中心にした連結グループ全体で表したものです。

この表は、左側にこれまで取得した土地や建物、預金などの「資産」を、また右側にその資産を形成したことによる将来世代の負担「負債」と、今までの世代が既に負担したものの「純資産」が示されています。（なお、金額は表示単位未満を四捨五入しています。これ以外の表も同様です。）

(表示単位：億円)

資産の部	H25年度	H26年度	増減額	負債の部	H25年度	H26年度	増減額
1. 公共資産 道路、橋、学校、保育園、庁舎といった町の施設など	589.6	582.0	△ 7.6	1. 固定負債 将来の負担	156.9	156.1	△ 0.8
2. 投資等 基金（固定的なもの）、出資金、貸付金など	13.3	15.4	2.1	2. 流動負債 翌年度の負担	13.0	12.4	△ 0.6
3. 流動資産 現金、預金、未収金など	48.1	42.6	△ 5.5	負債合計	169.9	168.5	△ 1.4
<b>資産合計</b>	<b>651.0</b>	<b>640.0</b>	<b>△ 11.0</b>	<b>純資産の部</b>	<b>H25年度</b>	<b>H26年度</b>	<b>増減額</b>
				純資産合計	481.1	471.5	△ 9.6
				今までの世代の負担			
				<b>負債及び純資産合計</b>	<b>651.0</b>	<b>640.0</b>	<b>△ 11.0</b>

## 住民1人当たり連結貸借対照表

～みなさんの家計にたとえるところになります～

(表示単位：万円)

資産の部	H25年度	H26年度	増減額	負債の部	H25年度	H26年度	増減額
1. 公共資産 住宅、土地	238	236	△ 2	1. 固定負債 翌年度以降に支払う借金残高 (住宅ローン残高)	63	63	0
2. 投資等 定期預金、株式	5	6	1	2. 流動負債 翌年度借金返済予定額	5	5	0
3. 流動資産 現金、通預金	19	17	△ 2	負債合計	68	68	0
<b>資産合計</b>	<b>262</b>	<b>259</b>	<b>△ 3</b>	<b>純資産の部</b>	<b>H25年度</b>	<b>H26年度</b>	<b>増減額</b>
				純資産合計	194	191	△ 3
				住宅や土地に対して今まで 支払ってきた金額			
				<b>負債及び純資産合計</b>	<b>262</b>	<b>259</b>	<b>△ 3</b>

※この数字は、平成26年3月31日現在の人口24,806人、平成27年3月31日現在の人口24,671人をもとに計算しています。

純資産比率 = 73.7%

「負債及び純資産合計」に占める「純資産」の割合を示します。これは数値が高いほど、将来返済しなくてもよい財源により資産を形成したことを示し、財政状況の健全性を測る指標となります。

道路や公園など、今までの世代による負担比率 = 81.0%

道路や公園など、社会資本整備の結果を示す公共資産のうち、純資産による整備割合をみることによって、今までの世代により既に負担された分の割合をみるすることができます。社会資本形成の約8割余りを現役世代が負担し、未来の子どもへの負担を極力抑えています。